| 科目名                          | 人間と教育 Sociology to Education  |   |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
|------------------------------|---|---|-------|---------------|--------------------------|------|---------------------------|----------------|----|--|
| 科目担当者                        | 山本 優 YAMAMOTO Yu  |   |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 単位数                          | 2   |   | 配当年次  | 1年            | 授業形態                     | 講義   | 開講学期                      |                | 前期 |  |
| 履修学部・学科 [区分]<br>他学部他学科履修     |   | 法学部・法律学科 [総合教育科目 人間形成] ディプロマポリシ (1)(6) 経営学部・経営学科 [総合教育科目 人間形成] ーとの関連  |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 授業の概要                        | てテーが、ス  | 教育(その仕組みや教育によって伝えられる知識・技術)は人々の人生に大きくかかわっている。例えば、教育によって自分が何者であるかを考えるようになり、価値観やアイデンティティが形成されていく。また、教育によって行動が規定されていく。 人それぞれの価値観の構築や経験は、個人の意思による選択の結果だという側面もあるが、中には教育によって知らず知らずのうちに選ばされてきた側面もある。 本科目は、そういった教育の作用を社会学的な視点で検討していく。学校教育に限らず、広い視点で教育を捉え、批判的に考える力を養成したい。 |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 授業の到達目標                      | と<br>②<br>理<br>第<br>③   | ① 教育の内容が、市民・国民の育成や職業とどのように関わってきたのか、また、人と人との間の序列の形成にどのように影響を与えているのかを理解している。<br>②こどもや若者の人生に対して、学校教育や家庭での教育がどのように影響しているのかを理解している。<br>③「先生」の世界について教師像・労働環境・アイデンティティの3つの視点で考え、教職とはどのような世界であるかを考察する。  |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 授業計画・内容                      | 1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>10<br>11<br>12<br>13<br>14 | 2教育の社会化機能3人はなぜ知識を求めたのか4「市民」や「国民」をつくるための教育5教育は貧困や差別とどのように闘ってきたのか6教育は働くこととどのように関わってきたのか7教育と家族8家庭環境がどのように学校生活・学力に影響を与えるのか9学校での人間関係10学校以外の「居場所」11大学生は「生徒」なのか?12夢を追う若者と教育13教員は聖職者?それとも労働者?   |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 授業外学修 (事前学修)                 | • 5   | 15   「先生である」とはどういうことか?   ・受験、進学、そして就職など、さまざまな局面で自身の選択に影響を与えた事柄や、学校 経験のなかで疑問に思った事などを整理しておく (毎週 2 時間程度)。  |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 授業外学修<br>(事後学修)              |   | ・各授業のキーワードを整理し、各テーマの関連文献を読むなどしてまとめる(毎週2時間程度)。   |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 成績評価方法・<br>評価比率・到達<br>目標との対応 | 授美  |   | の小テスト | 成績評価<br>記述およで | <sub>方法</sub><br>び授業中の発言 | 1111 | 評価比率<br>60%<br>20%<br>20% | 到i<br>①~<br>①~ | ~3 |  |
| 成績評価基準                       | 優:  | 秀: (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合<br>優: (評点 80 点~89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合<br>良: (評点 70 点~79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合<br>可: (評点 60 点~69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合<br>不可: (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合  |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 教科書                          | 特   | 特に指定しない。  |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| 参考文献                         | ・フ<br>・   | 主要な参考文献は以下の通り。 ・本田由紀,2015,『現代社会論―社会学で探る私たちの生き方―』有斐閣。 ・岩下誠・三時眞貴子・倉石一郎・姉川雄大,2020,『問いからはじめる教育史』有斐閣。 ・片山悠樹・内田良・古田和久・牧野智和,2017,『シリーズ大学生の学びをつくる 半径 5 メートルからの教育社会学』大月書店。   |       |               |                          |      |                           |                |    |  |
| その他                          | · 孝   | ・教育と社会の関係性に関心がある学生はぜひ受講してください。  |       |               |                          |      |                           |                |    |  |